

令和8年4月16日

**慶應 EMBA (Executive MBA プログラム) 「フィールド」 徳島への取り組みについて**

トモニホールディングスグループの徳島大正銀行は、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程 Executive MBA プログラム※<sup>1</sup> (以下、慶應 EMBA) の2年次授業科目「フィールド」※<sup>2</sup> 徳島について、地元の地域金融機関として徳島県と慶應 EMBA に全面協力しますので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、「フィールド」の徳島県での取り組みは、昨年度につづき2回目となります。

**記**
**1. 本件概要**

- (1) 慶應 EMBA の2年次授業科目「フィールド」を徳島県で実施する。
- (2) 同スクール2年生の30名が、徳島県の4つの課題テーマについて調査・分析・研究をする。
- (3) その結果を、課題解決に向けての戦略やビジネスアイデアとして徳島県に提案する。

**2. 各主体の役割と成果**

主体	役割	成果
慶應 EMBA	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 徳島県4つの課題テーマについて調査・分析・研究</li> <li>● 課題解決アイデアを提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● フィールドでの学びと経験</li> <li>● 徳島県とのネットワーク</li> <li>● 学生の新たなビジネスチャンスの可能性</li> </ul>
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 課題テーマの設定および各種情報やデータの提供</li> <li>● 現地調査受け入れ態勢の整備</li> <li>● ステークホルダーの調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本件を契機とした地域創生課題解決に向けた推進強化</li> <li>● 学生らの起業など、新たな地域活性化の機会</li> </ul>
当行	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 慶應 EMBA への現地での協力</li> <li>● 徳島県との橋渡し役</li> <li>● 地元への周知や機運醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元徳島の地域活性化</li> <li>● 慶應 EMBA および学生とのネットワーク</li> <li>● 地域金融、コンサル機能の実践</li> </ul>

**3. 本年度の主なスケジュールと課題テーマ**

- ・3/28 (土) キックオフ
- ・4/23 (木) ~25 (土) 現地調査① (30名の学生が来徳、ヒアリング面談・視察・研究など)
- ・5/28 (木) ~30 (土) 現地調査② (同上)
- ・7/11 (土) 徳島県への最終プレゼンテーション

	課題テーマ	メンバー
1	県内の人材確保 (労働力・後継者対策)	7名
2	教育再生 (県内進学率の向上・県外企業との連携等)	9名
3	農林水産業におけるブランド化、美波町での6次産業化	7名
4	空き家対策 (国内外から選ばれる魅力的な地域づくり)	7名

【※<sup>1</sup>慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程 Executive MBA プログラム（慶應 EMBA）】

1962年創立、日本で最も歴史のある慶應ビジネススクールにおいて、社会人経験15年以上を入学要件とする特別なMBAプログラム

【※<sup>2</sup>フィールド】

慶應EMBAの2年次授業科目。国内の事業体（自治体や企業）について各学生の知見、経験、スキル、ネットワークを生かし地域振興、産業振興、社会課題や経営課題の解決を目的として、事業環境分析や戦略策定等を実践する。

以上